

新潟市学校事務研究協議会

令和8年度

総会・全体研修会要項



令和8年5月28日（木）

江南区文化会館 音楽演劇ホール

主 催 新潟市学校事務研究協議会

後 援 新潟市教育委員会

1 総 会

- (1) 開 会
- (2) 会長挨拶
- (3) 来賓挨拶
  - 新潟市教育委員会 学校人事課長 相馬 直子 様
  - 新潟市小学校長会 会長 小川 和宏 様
  - 新潟市中学校長会 会長 清水 美穂 様
- (4) 議長選出 (南区より選出)
- (5) 議 事
  - ①令和7年度活動報告
  - ②令和7年度会計報告・監査報告
  - ③令和8年度役員選出
  - ④令和8年度活動計画案
  - ⑤令和8年度予算案
- (6) 議長退任
- (7) 閉 会

2 全体研修会

- 新潟市学校事務研究協議会 創立10周年記念講話—
- 新潟大学教職大学院 特任教授 吉田 隆 様
- 「これからの学校事務職員に期待すること」

3 調査報告・研究テーマについて

4 諸連絡・閉会

【日 程】

13:30	13:45	14:30	14:45	14:55	15:55	16:00	16:25	16:30
受付	総会	助成金 贈呈	休憩	創立10周年 記念講話	ステージ 準備	○調査報告 ○研究テーマ について	諸連絡	閉会

# 令和7年度 事業報告

日時 ・ 会場	会 議	内 容
4月23日(水) 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ、活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
5月28日(水) 江南区文化会館	総会 第1回全体研修会	議事 活動報告、会計報告、活動計画、役員、予算書案の承認 教育委員会講話
6月 小・中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会、小学校長会、弘済会、新学協、厚生財団、教職員共済への事業説明
6月17日(水) 新学協本部会議室	第1回役員会	令和7年度活動について検討
6月27日(金) ANAクラウンプラザホテル	新潟教弘との懇談会	新潟教弘の事業について／新事研・新潟市事研の活動について／新潟教弘の事業に対する質問、要望等
7月24日(木) 新学協本部会議室	第2回理事会	新潟市事研活動の今後の方向性について／各事業進捗状況確認
7月30日(水) 滋賀県大津市 コラボしが21	全事研総会	議事 活動報告、決算報告・監査報告、役員選出、活動計画、予算審議等
7月31日(木)～8月1日(金) 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 他	全事研大会 (滋賀大会)	文部科学省行政説明／全体研究会／シンポジウム
8月7日(木) 富山県教育文化会館	北越地区公立小中学校事務研究会研究大会(富山大会)	主題「学校のウェルビーイングを考える事務職員」 ※分科会1：全事研新潟支部発表
8月7日(木)～8月8日(金) 相模原市立小山小学校	政令指定都市学校事務職員研究協議会定例会	分科会協議／全体会(分科会報告)
10月1日(水) 新学協本部会議室	第2回役員会	各事業進捗状況確認／各部局会
10月20日(月) 江南区文化会館	第2回全体研修会	《特別講演》学びを支え、ともに学ぼう ～子どもたちの「ふるさと」をつくる～ 大正大学 教授/東京大学 名誉教授 牧野 篤 様
11月13日(木) 新学協本部会議室	第3回理事会	新潟市事研活動の今後の方向性についてまとめ／各事業進捗状況確認
11月14日(金) 万代市民会館	全事研新潟支部懇談会	協議 活動中間報告、会計中間報告、意見交換
	厚生財団、新学協・教育用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等(新事研と合同)
12月12日(金) 江南区文化会館	全体研究会	講演「財務マネジメントを軸とした学びの環境整備」 愛知教育大学 教授 風岡 治 様 研究部提案
1月28日(水) 新学協本部会議室	第4回理事会	活動評価／次年度役員及び活動計画／総会及び全体研修会について検討
2月12日(木) 愛知県名古屋市 ウィルあいち	全事研評議員会	全事研評議員会
2月13日(金) 愛知県名古屋市 ウィルあいち	全事研セミナー	文科省行政説明／講義／全事研活動報告／全国大会PR
2月27日(金) 新学協本部会議室	第3回役員会	活動評価／次年度活動計画／各部局会
3月23日(月) 山潟中学校	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

令和7年度 事務局 活動評価

活動目標	各部と連携し、円滑な組織運営に努める。	
活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
全体運営、事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市事研全体の総括 ※会長、副会長との連携</li> <li>・年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理</li> <li>・活動評価の実施および考察</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部との連携により、概ね円滑な組織運営ができた。</li> <li>・各種システム（理事起案確認スプレッドシートや派遣申請システム）の運用を支援し、運営面での活動を円滑に進めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュール管理方法の整理を進めることができなかった。</li> <li>・事務局マニュアルの完成に至ることができなかった。</li> </ul> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッドシートやGoogleカレンダーなどを活用して、役員全員が年間スケジュールを容易に確認できるよう改善を進める。</li> <li>・事務局マニュアルを完成し、事務局員が円滑に業務を進めることができる体制を整備する。</li> </ul>
総会及び研修会・各種会議の準備、運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録</li> <li>・役員会の準備、運営 会場予約、日程調整、派遣依頼、記録</li> <li>・総会の準備、運営</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会、役員会、総会の運営については、役割分担が明確に行われ、各々が概ね滞りなく準備を進めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の運営準備に関して、必要物品の把握や会場準備における的確な指示など、改善が必要な場面があった。</li> </ul> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会については、運営役員振り返り結果を基に、詳細についても再確認し、見直しをもった企画運営ができるように準備を進める。</li> </ul>
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書立案及び執行管理、会計監査対応</li> <li>・各種団体への助成金申請、報告書提出</li> <li>・会員名簿の作成及び管理、会費集金業務</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計の執行管理および各種助成金の申請や報告については、滞りなく処理することができた。</li> <li>・会員情報の作成管理についても、適正に行うことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の現金入金や払い戻しなど、会計担当者への業務負担がかかってしまった。</li> </ul> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、キャッシュレス化への移行を進める。</li> </ul>
記録・情報収集及び会員への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議の記録</li> <li>・要覧（沿革）の作成、活動記録・会則・組織図の保管</li> <li>・会員への連絡</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議記録の作成及び保存方法をスプレッドシート管理に変更し、理事及び役員全員で円滑な情報共有を図ることができた。</li> <li>・要覧を作成し、HPへの掲載を通して、会員に周知することができた。</li> <li>・会員への情報提供については、C4thを活用することで、迅速に行うことができた。</li> <li>・Zoom有料ライセンスの試験的運用開始および部局会議等での活用、会員への周知ができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員へのC4thでの情報提供において、新潟市事研内外の様々な情報を多数配信しているが、情報が混在したりすることがあり、情報を的確に共有できていない場面があった。</li> <li>・要覧の『新潟市事研のあゆみ』部分について、構成などの細かな部分について修正確認をスムーズに行うことができなかった。</li> </ul> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員への情報提供方法については、HPの活用なども含めて運用方法を整理して、会員にとってよりよいものとなるように、改善を進めていく必要がある。</li> <li>・要覧の作成においては、全体構成を再確認し、よりよい形を模索していく。</li> <li>・Zoom有料ライセンスの活用について、会員に改めて周知する。</li> </ul>
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部（新事研）との窓口 新事研会員の取りまとめ、全事研等各種調査への協力</li> <li>・他団体との連携</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部の業務として、全事研メール等の連絡窓口を担当し、新潟市事研内外に対して滞りなく情報提供を行うことができた。</li> <li>・新事研との交流により、相互補完が図れた部分があった。</li> <li>・福利関係団体との交流についても、懇談会等を通して、有益に行うことができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部として、新事研と新潟市事研で懇談会等を通して交流を図っているが、現行の方法の継続有無も含めて改善が必要である。</li> </ul> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部としての新事研との交流について、その内容を見直し双方にとってよりよいものとなるように、新事研と連携しながら、改善提案を行っていく必要がある。</li> </ul>

令和7年度 研究部 活動評価

活動目標	調査を通して学校事務の現状を把握し、めざす姿を提案・共有することで、会員の意識と専門性を高める。
------	--

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
実態を捉える —現場分析と課題の可視化—	会員を対象に学校経営参画等に関する調査を実施し、結果を分析する。	【成果】 調査項目について研修部とともに検討することで、研究・研修に活かせるデータを取得できた。
		【課題】 経年でデータの変容を見るために収集したデータの整理ができていなかった。効果的に管理して活動に活かしたい。
		【次年度へ】 調査時期を提案発表に活かせるタイミングにするなど、収集したデータを有効に活用していく。
未来を描く —提案による創造的アプローチ—	調査で得られた結果分析に基づき、学校事務の改善や発展に向けた具体的な提案をまとめ、発表する。	【成果】 全体研究会において実践をもとに研究部からの提案発表を実施し、参加者アンケートでは回答者の9割以上が研究会内容に対し肯定的な意見であった。
		【課題】 実践について、実践に至った経緯、過程、結果を具体的に示したがるうまく伝わらないところがあった。
		【次年度へ】 会員の後押しとなるような発表内容に改善し、会員の意識が高まるような全体研究会を実施する。
視野を広げる —外部実践に学ぶ知見の獲得—	広い視野から学校事務の課題や可能性を捉えるため、他地域や他団体が主催する研究会・研修会に参加する。	【成果】 各自が全事研大会やセミナー参加を通して、新潟市以外の状況や動向を学ぶことができ、今後の課題や可能性を探ることができた。
		【課題】 部内で共有し、意見交換するといったところまでではできなかった。
		【次年度へ】 それぞれ得た情報や知識を共有し、広報部と連携し、会員への発信をしていく。

令和7年度 研修部 活動評価

活動目標	会員に、これから必要とされるスキルや知識を得る場を提供するだけでなく、会員相互のつながりや新たな気づきを生み出す。(未来志向・対話型研修会)
------	--

活動項目	具体的な内容	成果と課題、次年度への方策
全体研修会の企画運営（2回）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の目的を明確にし、新潟市事研ブランドデザイン及び新潟市教育振興基本計画に即した内容を検討・企画する。</li> <li>・講師との研修内容の調整・打合せ等、円滑な連絡調整を行う。</li> <li>・役員全員で協働できるように、役割分担を明確にし、研修会運営にあたる。</li> <li>・参加者からのアンケートを実施、回収後内容を分析して、今後の研修内容の改善につなげる。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b> 新潟市教育振興基本計画や社会教育・生涯学習を軸に会員が教育の方向性や事務職員の役割を再認識する機会となった。多くの参加者が新たな視点や気づきを得ることができた。</p>
		<p><b>【課題】</b> 講義が中心となり、対話やグループワークの時間が十分に確保できず、会員同士のつながりを生みにくかった。 研修会の時間が延長する場面もあり、時間配分や進行管理に課題があった。 研修会で得た学びを具体的な行動へ結びつける工夫にも課題が残った。</p>
		<p><b>【次年度へ】</b> 研修会で得た学びを、事務職員としての具体的な行動や役割に結び付けられるような研修を展開する。 時間設計や会場の選定、アイスブレイク等を工夫し一体感のある学び合いの場を設定する。</p>

令和7年度 広報部 活動評価

活動目標	広げよう，新潟市事研の輪	
活動項目	具体的な内容	成果と課題，次年度への方策
<p>【会報の作成，配信】 内容を充実させたり配信の仕方を工夫したりして，より多くの人に新潟市事研の活動について知ってもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4，5回の会報を作成し，C4t hを使用して全事務職員（事務員含む）と新潟市教育委員会・校長・教頭へ配信する。</li> <li>※会報に関わるもので，研修会資料やアンケート結果など，内容によってはホームページの会員ページに掲載する。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校人事課をはじめ，複数の校長，教頭から会報を配信するたびに好意的なコメントをいただき反響を感じるとともに，新潟市事研の活動を広く周知できていると実感した。</li> <li>・会員以外にも広く配信することを意識して文章やレイアウトを考えることで，部員の広報紙作成スキルの向上につながった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>時期によっては作成者の負担が大きくなる。</p> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度と同様の内容で活動を継続していく。</li> <li>・部分的に決まったレイアウトにするなど，作成者の負担を軽減できるような方策を検討する。</li> </ul>
<p>【ホームページの管理運営】 レイアウトを見直したり掲載情報を充実させたりして，アクセス数アップを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすいホームページを意識し，適宜レイアウトの見直しを行う。</li> <li>・沿革や会員情報などの基本情報を更新する。</li> <li>・役員から会員への情報・資料提供の募集を行い，随時掲載する。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <p>ホームページのアクセス数に関するデータの分析を行い，今後の方向性を見出すことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>アクセス数増加につながるような活用をすることができなかった。</p> <p>【次年度へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿革はまとめてではなく随時更新していく。また，ホームページを更新した際は，そのことを都度C4t hでお知らせする。</li> <li>・現在使用していない「役員ページ」の活用方法を検討する。</li> <li>・会員や外部に向けた有益な情報とは何かを考察し，掲載できるよう努める。</li> </ul>
<p>【その他情報発信】 C4t hを活用したりリアルタイムな情報提供を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県学校事務研究協議会や全国公立小中学校事務職員研究会から提供を受けた情報を会員へ発信する。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <p>取り組みなし。（事務局から配信していただいたため。）</p> <p>【課題】</p> <p>【次年度へ】</p> <p>活動項目からは削除するが，他部局との連携の中で必要に応じて広報部から情報発信する。</p>

令和7年度 新潟市学校事務研究協議会会計 決算書

1 収入の部

△は減

新潟市学校事務研究協議会

	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
繰越金	293,544	293,544	0	前年度からの繰り越し
会費	321,000	334,780	13,780	(会費 2,000円×158人) + (新事研究会費 4,000円×3) (賛助会員 1,000円×7人) - 振込手数料 220円
補助金	470,000	550,000	80,000	厚生財団・弘済会・新学協・教職員共済 助成金
雑収入	300	125,159	124,859	預金利息 全事研より大会参加費補助 (85,300円) " セミナー参加費補助 (18,000円) " 消耗品予算配当 (20,000円)
合 計	1,084,844	1,303,483	218,639	

2 支出の部

項	費 目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
運 営 費	会議費	2,000	3,456	1,456	総会来賓車代
	消耗品費	30,000	31,141	1,141	運営役員用吊り下げ名札、役員使用コピー用紙代、 白封筒、スズランテープ・養生テープ 全事研新潟支部消耗品費 (全事研補助額 20,000円含む)
	印刷費	35,000	30,030	△ 4,970	名刺印刷代
	役務費	104,000	101,340	△ 2,660	ホームページ保守管理費、団体助成報告書郵送料
	小 計	171,000	165,967	△ 5,033	
運 営 部 活 動 費	事務局費	6,000	6,313	313	総会来賓用お茶・紙コップ、部会旅費 銀行払い戻し手数料
	研究部費	23,000	17,248	△ 5,752	部会旅費
	研修部費	38,000	18,886	△ 19,114	部会旅費、駐車場代、研修会案内チラシ印刷代
	広報部費	5,000	0	△ 5,000	
小 計	72,000	42,447	△ 29,553		
研 修 会 運 営 費	会場費	5,000	1,016	△ 3,984	総会・全体研修会 講師・来賓用お茶代
	報償費・旅費	138,000	137,543	△ 457	全体研修会 講師謝礼・宿泊代・旅費
	研修会消耗品費	7,000	1,622	△ 5,378	のし袋、要覧印刷代、受付用鉛筆
	小 計	150,000	140,181	△ 9,819	
研 究 助 成 費	研究会開催費	90,000	85,190	△ 4,810	全体研究会 講師謝礼・旅費、謝礼用金封代
	研究会等参加費	45,000	40,000	△ 5,000	全事研滋賀大会参加費補助 (9名) " セミナー参加費補助 (9名)
	補助研究費	20,000	4,000	△ 16,000	自主研修助成 (4件)
	小 計	155,000	129,190	△ 25,810	
旅 費	役員旅費	85,000	89,820	4,820	理事会・役員会旅費、挨拶まわり旅費・駐車場代、 北信越大会ブレ発表駐車場代、会計監査旅費
	研究会等参加旅費	40,000	60,000	20,000	全事研セミナー参加旅費補助 (3名)
	全事研大会旅費補助	120,000	175,300	55,300	全事研滋賀大会現地参加旅費補助 (3名) 幹事旅費補助 (全事研補助額85,300円含む)
	政令市研究会旅費補助	90,000	90,000	0	政令市定例会 (相模原市) 参加者旅費補助 (4名)
	その他旅費	5,000	0	△ 5,000	
小 計	340,000	415,120	75,120		
負 担 金	負担金	157,000	170,000	13,000	令和7年度全事研究会費 (1,000円×158名) 令和7年度新事研究会費 (4,000円×3名)
	小 計	157,000	170,000	13,000	
予備費		39,844	12,547	△ 27,297	ZOOM利用料金
合 計		1,084,844	1,075,452	△ 9,392	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)  
 1,303,483円 - 1,075,452円 = 228,031円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします)  
 上記のとおり報告いたします。 会長 佐野 公則 印 会計係 大野 拓真 印

令和7年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1 諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2 予算執行が適正であることを認めます。

令和8年3月23日

会計監事 小西 淳子 印 高橋 紀子 印

令和7年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 決算書

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 繰越金	634,081	634,081	0	前年度繰越金
2 会費	590,000	585,000	△ 5,000	会員1,000円×585名
3 雑収入	119	483	364	貯金利息
合計	1,224,200	1,219,564	△ 4,636	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘要
1 運営費	78,000	59,970	△ 18,030	
役務費	18,000	12,830	△ 5,170	全事研会報送料 他
消耗品費	50,000	41,000	△ 9,000	各種消耗品 (コピー用紙等)
支部活動会場費	10,000	6,140	△ 3,860	北越地区大会プレ発表会場費、新潟市事研交流会会場費
2 研究助成費	285,000	149,000	△ 136,000	
補助研究費	285,000	149,000	△ 136,000	北越地区大会補助、全事研大会参加補助、全事研セミナー参加補助
3 旅費	510,000	398,212	△ 111,788	
全事研役員旅費	100,000	233,976	133,976	全事研総会旅費、全事研評議員会旅費
大会派遣旅費	320,000	151,656	△ 168,344	北越地区大会旅費
支部活動旅費	90,000	12,580	△ 77,420	北越地区大会分科会担当者研修会旅費
4 会費・負担金	290,000	290,000	0	
全事研会費	290,000	290,000	0	全事研会費 (290名分)
5 予備費	61,200	10,000	△ 51,200	
予備費	61,200	10,000	△ 51,200	祝賀会補助
合計	1,224,200	907,182	△ 317,018	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)

1,219,564円 - 907,182円 = 312,382円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします。)

上記のとおり報告いたします。 会長 上野 智子 印 会計係 押味 大樹 印

令和7年度決算について監査を行った結果を次の通り報告いたします。

- 1、諸帳簿等について詳細に監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。
- 2、予算執行が適正であることを認めます。

令和8年3月4日 会計監事 棚橋 柚月 印 立川 将太 印

# 新潟市学校事務研究協議会会則

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は新潟市学校事務研究協議会と称する。

(本部)

第2条 本会の本部は会長の勤務する学校に置く。事務局は事務局長の勤務する学校に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の連絡提携を密にし、学校教育充実のため学校事務職員としての職務能力を高め、学校事務の向上に努めることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学校事務の研究, 調査に関すること。
- (2) 会員の研修に関すること。
- (3) 会員の地位向上に関すること。
- (4) 本会と目的を共有する他団体との連絡提携に関すること。
- (5) その他本会の目的達成に必要な事項に関すること。

## 第2章 組 織

(会員)

第5条 本会は新潟市公立学校の事務職員をもって構成する。

2 会員以外で本会の趣旨に賛同する者を賛助会員とする。

## 第3章 機 関

(機関の設置)

第6条 本会は次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 役員会

(総会)

第7条 総会は本会の最高議決機関で、全会員をもって構成する。

2 総会の成立は会員の過半数の出席とし、決議は出席者の過半数とする。

3 総会は毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めた時及び理事会の要請があった場合、または会員の3分の2以上の要求がある時は臨時に開催することができる。

4 総会の議決事項は次のとおりとする。

- (1) 会則の改正
- (2) 事業計画の審議・事業報告の承認
- (3) 予算の審議・決算の承認

- (4) 役員の承認
  - (5) その他重要な事項
- (理事会)

第8条 本会の会務を執行するため理事会を置く。

- 2 理事会は会長、副会長、理事及び事務局員、顧問をもって構成する。理事は、事務局長、事務局次長及び専門部長、専門部副部長とする。また必要により理事会に助言者等を招致することができる。
- (事務局・専門部)

第9条 前条に掲げる理事会に事務局と次の専門部を置く。

- (1) 事務局
  - (2) 研究部
  - (3) 研修部
  - (4) 広報部
- 2 前項の局に局長及び次長を、部に部長及び副部長を置く。
  - 3 事務局・研究部・研修部・広報部は細則で定めた事項を行う。
  - 4 専門部には必要により助言者等を招致することができる。

## 第4章 役員

(役員の種類と選出方法)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1～3名
  - (3) 理事 8名
  - (4) 専門部員 15名程度
- 2 役員の選出は次の方法による。
    - (1) 会長及び副会長は理事会が推薦し、総会において承認を受ける。
    - (2) 理事は会長が推薦し、総会で承認を受ける。
    - (3) 事務局の局員、研究部・研修部・広報部の部員は、立候補及び推薦による候補者の中から理事会が選出し、会長が委嘱する。
  - 3 役員は会計監事を兼ねることができない。
- (会計監事)

第11条 本会に会計監事2名を置く。

- 2 会計監事は会長が推薦し、総会において承認を受ける。
- 3 会計監事は役員を兼ねることができない。

(顧問)

第12条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(任務)

第13条 役員、会計監事及び顧問の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長の事故ある時はこれを代理する。
- (3) 事務局長、専門部長は事務局並びに各部の業務を統括する。事務局次長、専門部副部長は局長並びに部長を補佐し、局長並びに部長に事故ある時はこれを代理する。
- (4) 専門部員は各部の業務を処理する。
- (5) 会計監事は本会の会計を監査し、総会に報告する。
- (6) 顧問は専門的な知識や経験をもって補佐や指導にあたる。

(任期)

第14条 役員の任期は2年、会計監事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(解任)

第15条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
- (2) その他解任に相当する事項が認められるとき。

## 第5章 会 計

(会費)

第16条 本会の経費は会費及びその他の収入をもってあてる。

(年度)

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

## 第6章 附 則

(細則)

第18条 本会の会務執行に必要な細則は別に定める。

(会則改正)

第19条 本会の会則改正は総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(会則施行)

第20条 本会の会則は平成29年7月19日から施行する。

## 細 則

第1項 事務局並びに専門部の活動は、当該年度の活動計画によることとする。

- (1) 事務局
- (2) 研究部
- (3) 研修部
- (4) 広報部

## 第2項 全国公立小中学校事務職員研究会（以下、「全事研」という。）について

新潟市学校事務研究協議会（以下、「新潟市事研」という。）は新潟県学校事務研究協議会（以下、「新事研」という。）と連携・協議し、全事研新潟県支部として活動する。

- ・全事研の新潟県支部長は、新事研会長がこの任にあたり、新潟市事研の代表者は評議員としてその任にあたる。
- ・全事研の評議員は、全事研の総会及び評議員会に出席し、決議機関員として活動する。また全事研の地区委員会及び新事研との連絡調整にあたる。

## 第3項 北越地区公立小中学校事務職員研究会について

- ・北越地区公立小中学校事務職員研究会の新潟支部長は、新事研会長がこの任にあたり、同評議委員は新事研副会長がこの任にあたる。
- ・新潟支部長及び評議委員は、北越地区公立小中学校事務職員研究会の評議委員会・連絡会に出席し、決議機関員として活動する。

## 第4項 政令指定都市学校事務職員研究協議会について

- ・政令指定都市に共通する課題を研究協議する。
- ・政令指定都市学校事務職員研究協議会定例会の開催地となった場合、現地実行委員会を組織する。

平成30年6月28日改正

令和4年6月27日改正

令和5年6月26日改正

令和6年5月16日改正

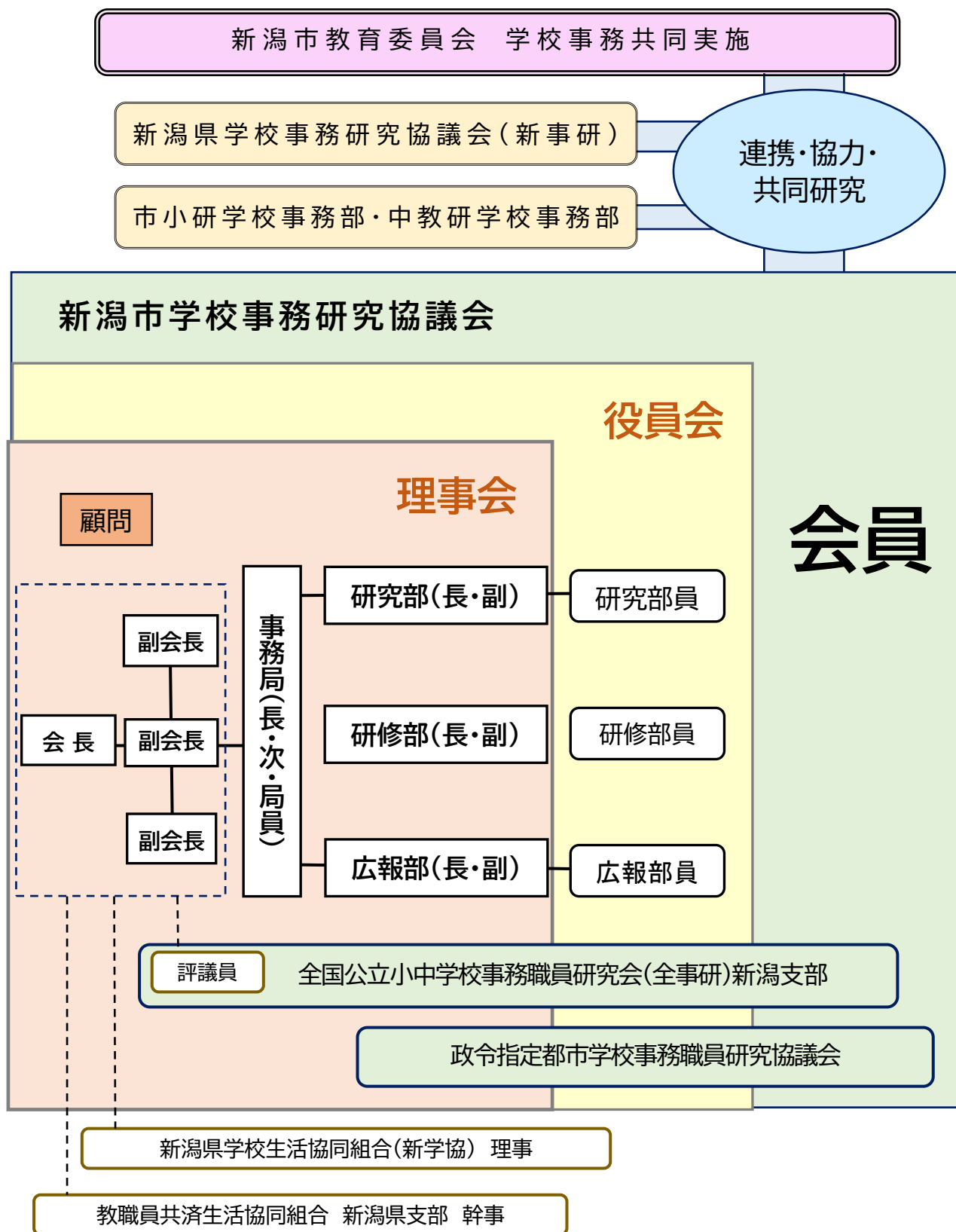
令和7年5月28日改正

## 内規

### ◎ 令和3年度からの担当業務

業務内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
会計監事 (2名)	江南区	中央区	東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区
議長 副議長		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区
議事記録		東区	北区	西蒲区	西区	南区	秋葉区	江南区	中央区

# 新潟市学校事務研究協議会組織図



## 令和8年度 新潟市学校事務研究協議会 役員名簿

会長	佐野 公則 (東新潟中学校) 政令指定都市学校事務職員研究協議会新潟市代表	
副会長	大塚 淑子 (葛塚小学校) 全国公立小中学校事務職員研究会新潟支部 評議員	恩田 裕也 (東特別支援学校) 新潟県学校生活協同組合 常任理事
	田邊 直人 (新津第二中学校) 教職員共済生活協同組合新潟県事業所 幹事	

会計監事	大越 隼 (坂井輪中学校)	登石 美緒 (小新中学校)
------	---------------	---------------

顧問	松野 千恵美 (巻北小学校)
----	----------------

	事務局
局長	岡村 昇 (女池小学校)
次長	片岡 秀介 (山田小学校)
局員	梅沢 花鈴 (大形小学校)
	田邊 しおり (小林小学校)
	恩田 千尋 (大野小学校)
	田村 翔太 (横越中学校)

	研究部	研修部	広報部
部長	渡部 慎 (亀田西小学校)	加藤 恵子 (内野小学校)	吉原 恵介 (白根北中学校)
副部長	池田 杏菜 (高志中等教育学校)	長野 郁諒 (紫竹山小学校)	長谷川 慧 (新潟小学校)
部員	小熊 彩夏 (鏡淵小学校)	駒村 優佳 (竹尾小学校)	渡辺 光慶 (鳥屋野小学校)
	山口 陽平 (横越小学校)	園田 梨緒 (坂井東小学校)	原 加奈子 (南万代小学校)
	関川 竜太 (庄瀬小学校)	小林 郁未 (新通つばさ小学校)	飛田 萌 (東青山小学校)
	笹川 和也 (鳥屋野中学校)	三輪 晃 (山の下中学校)	小田島 美咲 (早通中学校)
	田中 真理恵 (亀田西中学校)		

	全国公立小中学校事務職員研究会
研究開発部理事	神田 千春 (白根小学校)

## 令和8年度 事業計画

日時 ・ 会場	会 議	内 容
4月20日(月) 新学協本部会議室	第1回理事会	新旧引き継ぎ, 活動計画・役員・総会について検討 新役員の会長推薦
5月28日(木) 江南区文化会館	総会 全体研修会	《議事》活動報告, 会計報告, 活動計画, 役員, 予算書案の承認 《創立10周年記念講話》 「これからの学校事務職員に期待すること」 新潟大学教職員大学院 特任教授 吉田 隆 様
6月 小・中学校長会 ほか	諸団体事業説明訪問	中学校長会, 小学校長会, 弘済会, 新学協, 厚生財団, 教職員共済への事業説明
6月 新学協本部会議室	第1回役員会	令和8年度活動について検討
6月26日(金) ANAクラウンプラザホテル	新潟教弘との懇談会	新潟教弘の事業について/新事研・新潟市事研の活動について/新潟教弘の事業に対する質問, 要望等
7月 新学協本部会議室	第2回理事会	各事業進捗状況確認
7月23日(木)～7月24日(金) 熊本市国際交流会館	政令指定都市 学校事務職員 研究協議会定例会	分科会協議/全体会(分科会報告)
7月29日(水) 佐賀市文化会館&グランデはがくれ	全事研総会	議事 活動報告, 決算報告・監査報告, 役員選出, 活動計画, 予算審議等
7月30日(木)～7月31日(金) 佐賀市文化会館&グランデはがくれ	全事研大会 (佐賀大会)	文部科学省行政説明/全体研究会/シンポジウム
9月 オンライン	研修セミナー	未定
10月 新学協本部会議室	第2回役員会	各事業進捗状況確認/各部局会
11月13日(金) 万代市民会館	全事研新潟支部懇談会	協議 活動中間報告, 会計中間報告, 意見交換
	厚生財団、新学協・教育用品事務連絡会	各団体事業説明・意見交換等(新事研と合同)
11月 新学協本部会議室	第3回理事会	各事業進捗状況確認
12月4日(金) 江南区文化会館	全体研究会	研究成果発表
1月 新学協本部会議室	第4回理事会	活動評価/次年度役員及び活動計画/総会及び全体研修会について検討
2月 新学協本部会議室	第3回役員会	活動評価/次年度活動計画
2月9日(火) 未定	全事研評議員会	全事研評議員会
2月10日(水) 千葉県立文化会館	全事研セミナー	文科省行政説明/講義/全事研活動報告/全国大会PR
3月 未定	会計監査	会計監事2名による会計監査の実施

※現時点での計画のため延期又は中止等変更になる場合があります。

令和8年度 事務局 活動計画

活動目標	各部と連携し、円滑な組織運営に努める。
活動項目	具体的な内容
全体運営，事務局の活動評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市事研全体の総括 ※会長，副会長との連携</li> <li>・年間スケジュール管理 事務局マニュアル整理</li> <li>・各部局の活動評価及び考察の取りまとめ</li> </ul>
総会及び研修会・各種会議の準備，運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会の準備，運営 会場予約，日程調整，派遣依頼，記録</li> <li>・役員会の準備，運営 会場予約，日程調整，派遣依頼，記録</li> <li>・総会及び周年記念講演会の準備，運営</li> </ul>
会計・名簿・会員情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算書立案及び執行管理，会計監査対応</li> <li>・各種団体への助成金申請，報告書提出</li> <li>・会員名簿の作成及び管理，会費集金業務</li> </ul>
記録・情報収集及び会員への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議の記録</li> <li>・要覧（沿革）の作成，活動記録・会則・組織図の保管</li> <li>・実践バンクに関わる情報提供の依頼及び収集、管理</li> <li>・会員への連絡</li> </ul>
他団体連絡体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全事研新潟支部（新事研）との窓口 新事研会員の取りまとめ，全事研等各種調査への協力</li> <li>・他団体との連携</li> </ul>

## 令和8年度 研究部活動計画

活動目標	実践の共有と活用を通して、会員一人一人の経営参画を促進し、学校の発展に寄与する。
------	--

活動項目	具体的な内容
実態を捉える ー現状分析と課題の可視化ー	会員を対象に学校経営参画等に関する調査を実施し、結果を分析する。
未来を描く ー提案による創造的アプローチー	調査で得られた結果分析に基づき、経営参画等の具体的な姿を提案し、会員と共有する。

## 令和8年度 研修部 活動計画

活動目標	多様な視点や新たな価値観を得られる研修会の展開を通し、『学び続ける会員』一人一人の行動や実践を後押しする。
------	---

活動項目	具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修会の企画運営</li> <li>・ 研修部主催セミナーの企画運営</li> <li>・ 令和9年度研修会の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会の目的を明確にし、新潟市事研ブランドデザインおよび研究概要をふまえた研修内容を検討・企画する。</li> <li>・ 講師との研修内容の調整・打合せ等、円滑な連絡調整を行う。</li> <li>・ 役員が協働できるように、役割分担を明確にし、研修会運営にあたる。</li> <li>・ 参加者からのアンケートを実施し、結果を分析して、今後の研修内容の改善につなげる。</li> <li>・ 事務職員にとって望ましい研修のあり方について検討し、来年度以降の研修計画につなげる。</li> </ul>

令和8年度 広報部 活動計画

活動目標	広げよう，新潟市事研の輪
活動項目	具体的な内容
<p>【会報の作成，配信】 内容を充実させたり配信の仕方を工夫したりして，より多くの人に新潟市事研の活動について知ってもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4，5回 会報を作成し，C4t hを使用して全事務職員（事務員含む）と新潟市教育委員会（学校人事課）・校園長・教頭へ配信する。</li> <li>※C4t hを使用できない環境の賛助会員についてはメールにて会報を送付する。</li> </ul>
<p>【ホームページの管理運営】 レイアウトを見直したり掲載情報を充実させたりして，アクセス数アップを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすいホームページを意識し，適宜レイアウトの見直しを行う。</li> <li>・組織概要や沿革を随時更新し，その都度C4t hで周知する。</li> </ul>
<p>【他部局支援】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部局からの依頼により，広報資料等の作成支援を行う。</li> </ul>

令和8年度 新潟市学校事務研究協議会 予算書

1 収入の部

△は減(単位:円)

	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
繰越金	228,031	293,544	△ 65,513	前年度からの繰り越し
会費	150,000	321,000	△ 171,000	会員1,000円×140名 賛助会員1,000円×11名
補助金	470,000	470,000	0	弘済会・厚生財団・新学協・ 教職員共済より研究助成金
雑収入	300	300	0	預金利息
合 計	848,331	1,084,844	△ 236,513	

2 支出の部

△は減(単位:円)

項	費 目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
運 営 費	総会諸費	3,000	2,000	1,000	総会来賓車代, 総会消耗品費
	消耗品費	10,000	30,000	△ 20,000	役員使用消耗品費
	印刷費	35,000	35,000	0	名刺
	役務費	139,000	104,000	35,000	郵送料, ホームページ保守管理費, ZOOM利用料
	小 計	187,000	171,000	16,000	
運 営 部 活 動 費	事務局費	6,000	6,000	0	事務局会旅費, 活動費
	研究部費	20,000	23,000	△ 3,000	研究部会旅費, 活動費
	研修部費	18,000	38,000	△ 20,000	研修部会旅費, 活動費
	広報部費	10,000	5,000	5,000	広報部会旅費, 活動費
	小 計	54,000	72,000	△ 18,000	
研 究 研 修 会 費	会場費	5,000	5,000	0	機器使用料, 接待茶葉 他
	報償費・旅費	90,000	138,000	△ 48,000	講師謝礼・旅費 (研修会・研究会・セミナー 各30,000円)
	研究研修会消耗品費	7,000	7,000	0	消耗品 他
	小 計	102,000	150,000	△ 48,000	
研 究 助 成 費	研究会開催費	0	90,000	△ 90,000	R8より研究研修会費へまとめて計上する。
	参加費補助	45,000	45,000	0	研究会等参加費・資料代
	補助研究費	20,000	20,000	0	自主研究助成
	小 計	65,000	155,000	0	
旅 費	役員旅費	70,000	85,000	△ 15,000	会計監査旅費(2名), 理事会旅費(約20名×4回), 役員会旅費(約30名×3回), 研修会・セミナー役員旅費 他
	研究会等参加旅費	0	40,000	△ 40,000	R8よりその他旅費として予備費に計上
	全事研大会旅費補助	0	120,000	△ 120,000	全事研大会参加者への旅費補助 (R8は無し)
	政令市研究会旅費補助	105,000	90,000	15,000	政令市研究会への参加者の旅費補助
	その他旅費	50,000	5,000	45,000	旅費予算予備費
	小 計	225,000	340,000	△ 75,000	
負 担 金	負担金	0	157,000		R8から全事研会費分については金額等の 記載は無し。 ※令和8年度全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計予算書」参照
	小 計	0	157,000	△ 157,000	
	予備費	215,331	39,844	175,487	払い戻し手数料・会費振込手数料 他
合 計		848,331	1,084,844	△ 236,513	

令和8年度 全国公立小中学校事務職員研究会 新潟支部会計 予算書

1 収入の部

△は減 (単位:円)

項 目	8年度予算額	7年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	312,382	634,081	△ 321,699	
2 会費	580,000	590,000	△ 10,000	会費1,000円×580名
3 雑収入	118	119	△ 1	預金利息
合 計	892,500	1,224,200	△ 331,700	

2 支出の部

△は減 (単位:円)

項 目	8年度予算額	7年度予算額	比較増減	摘 要	
1 運営費	72,000	78,000	△ 6,000		
	役務費	20,000	18,000	2,000	全事研会報送料
	消耗品費	45,000	50,000	△ 5,000	印刷消耗品
	支部活動会場費	7,000	10,000	△ 3,000	懇談会会場料
2 研究助成費	120,000	285,000	△ 165,000		
	補助研究費	120,000	285,000	△ 165,000	全事研大会、全事研セミナー参加助成
3 旅費	400,000	510,000	△ 110,000		
	全事研役員旅費	270,000	100,000	170,000	全事研総会、全事研評議員会
	大会派遣旅費	120,000	320,000	△ 200,000	全事研大会派遣
	支部活動旅費	10,000	90,000	△ 80,000	北越地区会議旅費
4 会費・負担金	290,000	290,000	0		
	全事研会費	290,000	290,000	0	全事研会費 (290名分)
	北越地区負担金	0	0	0	
5 予備費	10,500	61,200	△ 50,700		
	予備費	10,500	61,200	△ 50,700	
合 計	892,500	1,224,200	△ 331,700		

## ○全体研修会

—新潟市学校事務研究協議会 創立10周年記念講話—

新潟大学教職大学院 特任教授 吉田 隆 様

「これからの学校事務職員に期待すること」

○調査報告

○研究テーマについて